



進路選択にあたって

6月になり、志望校を考え始める時期になりました。志望校を考える際には、体験入学や中学校・高校からの資料で情報収集し、自分の興味・適性に合っているかを踏まえることが大切です。高校に入ることだけにとらわれて、志望する学校や授業の内容等について知らずに入学してしまうと、「授業についていけない」「自分に合わない」などの理由で、高校生活を苦痛に感じ、退学してしまうこともあります。入学後のこともよく考えて、3年間しっかりと学習できる学校を選択するようにしましょう。

なお、ここでいう「進路」とは、高校だけのことを指しているものではありません。大学や短大・専門学校への進学や、将来就きたい職業についてのことも含んでいます。高校卒業後のことも考えて志望校を選択するようにしてください。志望校を選択して目標設定することで、学習に対する目的意識がもてるようになります。そして、その結果、学習意欲が高まり、能率も上がります。

これから進路に関する情報を得る機会が増えてきます。進路を決定する時期が来たときに、自分の意志をしっかりもち、自分に適した進路を選択できるようにしておきましょう。

入試制度について(概要)

(1) 一般入試と推薦入試

高校入試には「一般入試」と「推薦入試」があります。

- ①一般入試・・・志願者全員について学力検査を行い、その結果と調査書等(学校によってはそれに面接・適性検査の結果も含めて)を資料として合格者を決定します。
- ②推薦入試・・・高校の推薦要件を満たし、中学校長から推薦された人物について、学力検査は行わず、提出された推薦書、調査書、志願理由書、面接の結果等を資料として合格者を決定します。専願(合格したら必ず入学すること)であることが原則であるから、推薦入試を受験することができる学校は、一人1校だけです。

なお、推薦入試を実施する高校については、推薦入試は一般入試よりも前の日程で行われます。推薦入試を受験し合格とならなかった場合は、同じ学校の一般入試を受験することができます。

(2) 入試の流れ(県内の高校)



公立高校の通信制は3月28日に試験があります

(3) 志望校を考える際の留意点

- 公立高校が第1志望の場合は、私立高校・公立高校それぞれ最低1校を考えておいてください。
- 私立または国立が第1志望の場合も、私立高校・公立高校を考えておいてください。
- 先生やお家の方も十分に話をした上で、最終的には自分で受験校を決める意識をもってください。

※私立高校を合格し、国公立学校にも合格した場合には、国公立学校に進学することになります。

※県外への進学を考えている場合は、事前に担任へ相談されるとともに、インターネット等を利用して各自で情報収集をお願いします。

推薦入試を受ける人は…

推薦入試を受ける人は、成績・人物とも金石中学校の模範となる生徒でなければなりません。また、高等学校入学後も、その高校の模範生となることが約束できるものでなければなりません。つまり、ルールを守り、何事にも一生懸命に頑張ることがこれまでもできていて、これからも続けていくことができる人でなければなりません。

入試まで8ヶ月 ～1学期のうちにはすることは？～

大会が終わると、部活動を引退し、終礼後すぐ下校する人も多くなります。入試で「合格」をつかみとるためには、とにかく勉強することが絶対に必要です。今現在、入試を意識して実行できている人はどれくらいいるのでしょうか。「まだ先のことだし、夏休みから頑張ることにして、それまではゆっくりしよう」と思っている人はいませんか。このような考えで勉強もせず夏休みを迎えてしまうと「せっかくの休みだし、7月中は思いっきり遊んで、8月に入ったら本気で頑張ることにしよう」となってしまうかもしれません。さらに、8月になっても「暑くて集中できない、少し涼しくなる頃から集中すれば大丈夫だから」と何かと理由をつけて、結局何もしないまま夏休みが終わってしまうかもしれません。これまで勉強する習慣の身に付いていない人にとって、9月から必死に勉強してこれまで怠けた分を取り戻すのは大変難しいと思います。「勉強しなければ」という気持ちと「あせり」が先行し、結局行動に移さぬまま入試当日を迎えてしまう可能性があります。

入試直前になってラストスパートをかけ、力をのばすことができるのは、それまでにしっかり勉強を積み重ねてきた人だけです。普段まったく走っていない人がマラソンに挑戦しても、完走することができないことと同じです。

夏休みまでに絶対におこななければいけないことは、毎日勉強する習慣を身に付けることです。そのための一歩として、これまで部活動に取り組んでいた時間を勉強に使ってみてはどうでしょうか。

みんなで頑張ろう ～受験は団体戦～

受験勉強は決して楽なものではなく、苦しいこともたくさんあります。だからこそ、みんなで力を合わせて乗り切ってほしいのです。自分一人ではすぐ怠けてしまって集中できないという人も、まわりの仲間から励ましの声があったり、頑張っている仲間の姿を見たりすると、自分もやらなければという気持ちになります。学級全体、学年全体がよい雰囲気になるようにみんなで頑張っていきましょう。